

## 横浜市が公募する研究開発拠点施設整備・運営等事業の優先交渉権を取得

昭和電工株式会社（社長：森川 宏平）は、本日、横浜市が公募した「京浜臨海部守屋・恵比須地区 研究開発拠点施設整備・運営等事業（以下、「本事業）」の優先交渉権者に選定されましたのでお知らせいたします。

当社は、昭和8年（1933年）に日本アルミナ工業所が操業を開始して以降、セラミックス事業の基幹拠点として、横浜市で長年事業運営を行ってきました。現在はリチウムイオン電池などの先端電池材料や放熱材の開発、エンジニアリング機能など、多岐にわたる事業を同市内にて展開しています。

今回公募があった守屋・恵比須地区（横浜市神奈川区）は、JR 新子安駅・京急新子安駅から徒歩圏内かつ高速インターチェンジからも至近の場所であり、国内のみならず海外からのアクセスも良好なエリアです。当社は、本事業において、同地区の立地特性を活かし、当社グループのグローバルでの研究開発拠点を開設し、あわせて国内外の多様な人材が集う融合の場を構築する計画です。

なお、本事業の詳細内容については、別途改めて公表する予定です。

### 1. 研究開発拠点施設の概要

延床面積	約 8,800 m <sup>2</sup>
構造	地上 6 階建て
	1-4 階: 研究開発施設
	5-6 階: ラーニングスペース、コラボレーションスペース

### 2. 今後の予定

2018年11月～19年夏頃	基本協定、事業用定期借地権設定契約締結
2022年春頃	工事竣工、供用開始

以上

◆お問い合わせ先 広報室 03 - 5470 - 3235

